

雪害対策のチェックリスト

果樹露地

【事前対策】

内容	チェック欄	備考
(ブドウ・キウイ) 栽培上支障のない範囲で剪定作業を早く(降雪時期前までに)行う。		剪定前に降雪があると、着雪量が多くなって棚施設に負担がかかる。
天気予報に注意し、防鳥網を張ったままの園では事前に外すか、なるべく小さく収納する。		収納部分に着雪しやすいので注意。
降雪中は、棚施設等への着雪状況を確認し、こまめに除去する。		
立木仕立てで、着雪による枝の折損・裂傷が心配される場合は、支柱等で補強する。		

【事後対策】

内容	チェック欄	備考
(常緑果樹) 樹体への着雪を、できるだけ早く除去する。		
(ミカン) 果実は長時間の着雪で障害を受けやすいので、夕方までに結果部を揺すって雪を落とす。		
(ミカン) 果実の被害は2~3日後にならないと判断できないので、収穫時期の場合は一時収穫を中止し、被害状況を確認する。		被害果は分別して収穫し、貯蔵はしない。
枝の折損が生じた場合、きれいに切り戻して癒合剤を塗布する。		棚等支持施設が被害を受けている場合は、その応急修理と樹体管理を並行して行う。
棚等支持施設の被害を確認し、壊れた個所を修理する。		

※ 作業中及び見回り時に事故に遭わないよう十分に注意し、安全を確認の上、ほ場や施設の管理を行ってください。